

会議内容

件 名	令和3年度第1回鹿児島市心豊かで元気あふれる「さつまっ子」育成市民会議	作成課	青少年課
日 時	令和3年6月24日(木) 10:00~11:10		
場 所	市教育総合センター青年第一・二・三研修室等		
出席者	委員23人(1人欠席)		
市出席者	青少年課、学校教育課、生涯学習課職員		
会 次 第	1 委嘱状交付 2 開会のことば 3 開会のあいさつ(青少年課長) 4 全体会(委員紹介・部会構成・年間計画等) 5 部会(3部会) 6 全体会(部会報告・質疑応答) 7 閉会のことば		
主な意見等	1 各部会での意見 (1) 家庭部会(「心のとびらを開く家庭づくり講座」について) ア 「心のとびらを開く家庭づくり講座」は昨年同様、コロナ対策を講じて、実施する方向で計画を立てる。 イ 講座のテーマは、「コロナ禍での親子のかかわりについて」として、講師に依頼する。 ウ 参加者数は、昨年同様、150人程度とする。 エ 開始時刻を若干遅らせて実施する方が、参加者には都合がよいのではないか。 (2) 学校部会(「さつまっ子育成市民大会」について) ア 学校発表の2校は、小・中学校から1校、市立高等学校から1校で選んでもらいたい。内容としては、ボランティア活動や伝統文化継承活動等の発表をしたらよいのではないか。 イ 当日運営係として、ボランティアジュニアリーダー養成セミナー参加者を活用したらよいのではないか。 ウ 高齢化による郷土伝承活動の指導者の確保が難しい。また、地域と連携した教育活動の展開が課題である。 (3) 体験部会(「さつまっ子育成市民大会」について) ア あいご会の発表団体については、昨年度から依頼してある。 イ オープニングは、郷土芸能伝承活動団体でよいのではないか。文化財課などから情報を提供してもらったらどうか。 ウ 青少年団体発表は、地域でがんばっている若者・団体などの取組を紹介したらどうだろうか。 (4) 環境部会 ア ネットがどこでもつながる時代であり、セキュリティの大切さを教えるとともに、ペアレンタルコントロール(親が子どものインターネット使用をコントロールする)についても啓発する必要がある。また、ネット依存の低年齢化していることも課題である。 イ 少年の薬物乱用も増加している。研修会などを通して啓発していく必要がある。 ウ 「社会を明るくする運動」の一環として、小・中学生に犯罪や非行防止についての作文を募集することにより、犯罪や非行に対する知見を広めている。		
	2 全体会 (1) 各部会報告 (2) 質疑応答等		